



二宮町立山西小学校
学校便り「ゆずり葉」
第 101 号
山西小学校 72-3777

祝！入学、おめでとうになります

二宮町の公立小中学校が臨時休業となつていますが、四月六日(月)に六十四名の新一年生を迎える入学式が行われました。

今回は、新型コロナウイルス感染防止ということで、ご来賓の方々の出席のご遠慮や保護者一名の参加といった、規模を縮小しての入学式となりました。しかしながら、本校職員は、規模が縮小しても「質や価値を下げない」を合言葉に準備をしてきました。これは、先日の卒業式も同様でした。

式の当日は、気持ちの良い春の日差しが降り注ぎ、桜の花も咲き乱れ、新一年生を迎えるには絶好の日となりました。子供も保護者も先生も、みんなマスクをつけての入学式でしたが、子供たち一人一人の目からは、希望に満ちた嬉しさを感じました。

入学式の様子ですが、

新一年生は、とにかく静かに、お行儀よく式に臨むことができていて、よくお話を聴くことができました。



式の中で、私(学校長)が話したことを紹介します。

- は 早寝早起き朝ごはん
- う 元気よく運動をしましょう
- お お勉強を楽しみましょう
- よ お話を よく聞く(聴)きましょう

そしてもう一つ、四文字を並べ替えて、

おはようの挨拶です。健全な成長には欠かせない事柄ですので、みなさんと一緒に習慣づけていきたいと考えていますのでどうぞよろしくお願いします。

校章のお話

学校には、校歌とともに校章があります。校章のデザインを誰が描いたかは不明ですが、中には何が描かれているのでしょうか？



「山西」の文字の下に曲線が描かれています。これは吾妻山だそうです。そしてそれらを下から包むように描かれているのが、ゆずり葉という植物です。

ゆずり葉は、若葉が出た後に、それを護るように前の葉が落葉することから、親が子に代を護るようにとたとえられ、代々続いていくような縁起の良い木とされています。昭和五十二年(一九七七)開校ですので、四十三年目を迎えました。開校当時の

児童数は九一一名、最も多かった年は昭和五十六年で、一〇九五名という記録が残っています。今年度の児童数は三五九名です。児童数は減っていますが、今まで受け継がれてきた良き伝統を守りつつも、時代に則した新しい山西小学校を築いていきたいと思えます。

まもなく学校が再開できます

一日も早く学校を再開し、子どもたちの学びの場を取り戻したいと、学校では日々準備を進めています。再開日を六月一日(月)に想定しています。学校を再開するにあたって気をつけなければならぬことは、

- ① 教室内での3密を避けること。
- ② 気の緩みに注意して過ごすこと。
- ③ 学校での生活が安全であることを日々感じていくこと。

そのために、分散登校(各クラスの人数を分ける形で登校)での開始を考えています。日常を取り戻すためにも、気を緩めることなく過ごしていただきたいと思えます。

「もう大丈夫」「私は大丈夫」「今回も大丈夫」「まだ大丈夫」「こは大丈夫」

これらの感覚はとても危険です。コロナウイルスと闘う状況になってはいけません。関わらないようにすることです。